

## 訃 報



兵頭 勲 功労会員

兵頭 勲 功労会員は、令和 4(2022)年 6 月 15 日に脳梗塞のため逝去されました。享年 80 歳でした。

氏は、昭和 17(1942)年に愛媛県東宇和郡野村町で誕生され、当地で高等学校まで過ごされました。昭和 43(1968)年 3 月に東京農業大学大学院農学専攻科(畜産専攻)修了後、駒沢学園女子高等学校での教鞭を経て昭和 46(1971)年 4 月に東京都に就職されました。東京都では伊豆諸島の大島支庁新島出張所で行政職として勤務後に、昭和 50(1975)年 4 月に東京都畜産試験場に異動されました。同試験場では、平成 12(2000)年 3 月までもっぱら養豚部門の研究員および担当部長として研究に携わり、平成 13(2001)年 3 月に畜産試験場長を最後に退職されました。東京都退職後は、東京都農業会議や民間会社の役員を歴任し、東京都農林水産振興財団 青梅畜産センターで「トウキョウ X」生産技術アドバイザーをされていました。

同試験場での業績は、ランドレース種の閉鎖群育種による系統豚「エド」の造成、3 品種(デュロック、バークシャー、北京黒豚)による合成系統豚「トウキョウ X」の造成等があります。「トウキョウ X」は、日本で初めての合成系統豚であること、筋肉内脂肪含量が多いこと、名前が斬新であること等からマスコミの注目することとなり、世間に養豚産業の明るいニュースを提供しました。平成 13(2001)年には「トウキョウ X」の造成に関する遺伝育種学的研究の成果により、東京農業大学から博士(畜産学)の学位を授与されました。

日本養豚学会への入会は、前身の日本養豚研究会時代の昭和 50(1975)年であり、会員歴は 46 年間に及びました。この間 1 期 2 年の役員を評議員 4 期、常務理事 3 期、編集委員 1 期、監事 4 期務められ、学会の運営に多大な貢献をされました。平成 27(2015)年 3 月には、「閉鎖群育種による系統豚の造成とその活用に対する功労」で第 9 回養豚功労賞を受賞されました。さらに、令和 3(2021)年には功労会員に推挙されました。

なお、葬儀は 6 月 21 日に近親者のみで執り行われました。長年に渡り養豚産業に貢献されたことに感謝申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

(元 日本養豚学会副会長 伊藤米人)